

きゅうしゅう

NO.42



写真提供：陸上自衛隊水陸機動団

目次 CONTENTS

1. 部隊紹介
航空自衛隊 春日基地
2. 自治体紹介～福岡県春日市～
3. 業務紹介 会計課
4. インフォメーション

(表紙について)

平成30年4月7日(土)、長崎県佐世保市の相浦駐屯地で陸上自衛隊「水陸機動団」の新編行事が山本ともひろ防衛副大臣ご臨席のもと行われました。

水陸機動団は、島嶼への侵攻に対し、すみやかに上陸・奪回・確保するための本格的な水陸両用作戦能力を新たに備えた部隊です。

※中央写真：山本防衛副大臣(左)から水団旗を受ける青木水陸機動団長

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



1 部隊紹介

航空自衛隊春日基地

基地司令挨拶



西部航空警戒管制団司令
兼ねて春日基地司令
空将補 小笠原 卓人

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」を御覧の皆さま、こんにちは。西部航空警戒管制団司令兼ねて春日基地司令の小笠原です。

航空自衛隊春日基地が所在する福岡県春日市は、九州の政治経済の中核である福岡市の中心部から10kmほど南方に位置し、鉄道・バス等公共交通機関の利便性から福岡市のベッドタウンとなっています。

春日基地では、開庁記念行事、夏まつり、年3回のコンサート等の基地行事や各種防災訓練への参加を通じ、春日市をはじめ、周辺自治体の皆様、更には福岡県内及び他県の皆様方と交流を深めています。

これからも、春日基地隊員一同、あらゆる事態に対応すべく、一人ひとりが与えられた任務を全うし、心を一つに邁進してまいります。

引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



春日基地ロゴマーク

近隣の名所である太宰府天満宮の飛梅や基地内にも多い梅の花を輪郭とし、航空自衛隊をイメージする青空を背景に、航空自衛隊の航空機を模した三角形と春日基地の3つの地区をイメージする3本の飛行機雲を描きました。

赤：「隊員の団結と闘志」

白：「平和と安全を守る隊員の奉仕の精神」

青：「隊員の信頼、誠実及び知性」

それぞれを表しています。



基地開庁記念行事



夏まつり



ファミリーコンサート



休日の基地見学



春日市防災訓練



T-4吊り上げ訓練



PAC-3機動展開訓練



九州北部豪雨に伴う災害派遣活動

2 自治体紹介

みんなで春をつくろう 福岡県 春日市



春日市長 いのうえ 井上 すみかず 澄和

市長あいさつ

本市は福岡都市圏の中央部に位置し、福岡市の中心部まで10km圏内という生活環境に恵まれた、たいへん住みよい地域です。交通の便も良く、住宅都市として発展を続け、人口密度は九州で2番目、人口11万人を超えるまでになりました。

古くは、弥生時代のクニ「奴国」の中心地があったとされ、多数の遺跡が存在します。特に国指定史跡「須玖岡本遺跡」からは王墓が発見され、30面前後の中国鏡やガラス勾玉・管玉などが出土するとともに、青銅器工房跡なども発見されており、当時の最先端技術がこの一帯に集中していたようです。そんな遺跡をたどると、古代へのロマンがかき立てられます。

また、白水大池公園や県営春日公園など大型の公園を抱え、さらに全国的にも珍しい「溜池保全条例」を制定するなど、都市と自然の調和の取れたまちづくりを進めています。

去年は、春日市のブランドイメージを「みんなで春をつくろう」に決定しました。「春」という言葉に新しいことが始まるワクワク感を込め、「暮らしが笑顔になる春を、どんどんつくっていく。みんなで春をつくるから、ずっと住みたいまちになる。」という、これからの春日市を表しています。

住民との交流も進む 基地のまち春日

春日市は、陸上自衛隊福岡駐屯地、航空自衛隊春日基地、自衛隊福岡病院を抱える、基地のまちです。

毎年行われる春日市の総合防災訓練には、陸上、航空、福岡病院の各自衛隊も参加し、自治会の自主防災組織と連携して救助訓練を行うなど、地域住民との協力関係が築かれています。

また、基地を開放して行われる、開設記念行事や夏祭りは好評で、多くの市民でにぎわいます。

春日市ふれあい文化センターでは、毎年、西部航空音楽隊がサマーコンサートを開催。迫力のあるブラスサウンドで、市民を魅了しています。

春日市は九州で一番小さい市で、その面積は14.15km²です。

市内には、3本の鉄軌道が走り、天神や博多駅までわずか10分～15分と交通アクセスに恵まれています。

野球場やサッカー・ラグビー場を備えた大型の公園や、総合スポーツセンターもあり、全国規模の大会も開催されています。

皆さんのお越しをお待ちしています。



見て



春日の婚押し



春日奴国
あんどん祭り



奴国の丘歴史公園



星の館

遊んで



ちびっ子広場



県営春日公園

学んで



春日市民図書館



白水大池公園 白水池



総合スポーツセンター

3. 業務紹介

総務部会計課

会計課の主な業務は、九州防衛局の職員たちの仕事がスムーズに運ぶようバックアップすることです。決して目立つ存在ではありませんが、九州防衛局を下支えする役目を担っています。業務は幅広く、いわゆる縁の下の力持ち的存在です。しかし、そのすべてが国の予算と法律に基づいているものであるため、些細なことでもおろそかにはできません。例えば、ボールペン1本の購入に際しても、それが国のものであるという意識が必要です。九州防衛局を支えるスタッフとして常に全体に目配りするという視点が欠かせません。幅広い仕事をこなしながらも、一つひとつについて精通していることが必要とされています。

主な業務内容

- 経費の予算及び決算に関すること
- 会計機関（支出負担行為担当官など）の事務担当職員の任免
- 物品の管理に関すること
- 庁舎及び職員の宿舎に供される行政財産等の管理
- 職員に貸与する宿舎に関すること
- 資金前渡に関すること
- 職員の給与、旅費及び退職手当の支給
- 庁費類に係る契約の締結
- 経費の支払いに関すること
- 歳入歳出外現金の保管
- 債権の管理に関すること
- 経費の支出負担行為に関する審査



その他特殊な業務

会計課では、在日米軍等が九州防衛局管内の演習場などにおいて、沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施、米軍再編に係る航空機訓練移転並びに回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄県外への訓練移転などを実施する際の現地対策本部の設営などを実施しています。

104移転訓練

- 会計課長を班長とし27名体制で実施
- 管理棟及び管理施設の整備をはじめ、レンタカーの借上、光熱水料などの物品及び役務の調達並びに職員の宿泊場所などの確保を主に担当



- 移転訓練が実施される約1週間前には現地対策本部が開設されるため、それまでに開設準備を完了
- また、移転訓練が終了した後、整備した管理棟などを速やかに撤収



移転訓練が実施される間、また、その準備、撤収期間を含め、九州防衛局の職員がその職責を果たすために必要となる後方支援を確実に実施することで、地元対応や円滑な訓練移転の実施に寄与しています。

4. インフォメーション

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施で支援

大分県の陸上自衛隊日出生台演習場において、米海兵隊による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練が2月5日(月)から同月14日(水)までの間に実施されました。これに伴いまして、米海兵隊員約150名、車両約50両、砲6門が、1月30日(火)から2月1日(木)にかけて同演習場に到着しました。

九州防衛局は、訓練の円滑な実施と地域住民の安心・安全の確保のため、1月28日(日)に日出生台演習場内において岩田和昭九州防衛局企画部長を本部長とする米海兵隊実弾射撃訓練現地対策本部を設置し、訓練部隊への支援や関係自治体などへの情報提供等を行いました。

本訓練は、平成8年の日米合同委員会において、沖縄県の負担軽減を図ることを目的として本土の5演習場で分散・実施することが合意され、九州防衛局管内においては日出生台演習場で行われることとなり、平成10年度に初めて実施されてから今回で13回目になります。

現地対策本部には、総括班、警備班、外出班、管理・建設班及び業務班を設置し、常時約40人態勢で業務にあたりました。各班の業務として、総括班は米軍及び自衛隊等との調整、関係自治体への情報提供、報道関係者の対応等、警備班は演習場周辺の巡回警備、警察及び自衛隊との警備に係る調整等、外出班は米兵外出に係る関係機関との連絡調整等、管理・建設班は現地対策本部の維持・管理や消耗品等の調達等、業務班は米軍のための物品及び役務の調達に関すること等を実施しました。

2月4日(日)には演習場内において、地元自治体や周辺住民の方々及び報道関係者に対し事前説明会を開催し、訓練を指揮する第12海兵連隊第3大隊長リロイ・パトラー中佐と岩田本部長が訓練の概況を説明しました。

また、2月7日(水)には訓練公開が行われ、地元自治体や周辺住民の方々及び報道関係者は、155mmりゅう弾砲の射撃訓練などを見学しました。

訓練は、予定の期間内ですべての日程を終了し、2月15日(木)には、九州電力八丁原地熱発電所、国立公園九重やまなみ牧場及び九重夢大吊橋等を見学、17日(土)には、地元の子どもたち約30名とバレーボールやバスケットボール等の地域交流を実施しました。

訓練部隊は、2月18日(日)から21日(水)にかけて、順次帰路につき、現地対策本部も21日(水)をもって閉所しました。



▲開所式で看板を掛ける岩田本部長



▲現地連絡本部で意見交換・情報収集をする九州防衛局職員



▲事前説明会で概況説明をするリロイ・パトラー中佐(右は岩田現地対策本部長)



▲訓練公開における155mmりゅう弾砲の射撃



FBS福岡放送において三貝九州防衛局長が講演



平成30年2月27日(火)FBS福岡放送の局内において、「我が国を取り巻く安全保障環境及び我が国の防衛体制について」と題し、三貝哲九州防衛局長が講演を行いました。(参加者約20名)

本講演は、FBS福岡放送が社員の見識を広め業務に資することを目的として不定期に各専門分野の有識者を招いて行っているもので、昨今、北朝鮮情勢がニュース等に多く取り上げられるなど軍事面において注視されていることから、今回、三貝局長に講演の依頼があったものです。

講演は、北朝鮮を含む周辺各国の軍事情勢及びそれに対する我が国の防衛体制や将来的な防衛構想についての説明が、約1時間にわたり行われました。

講演後、多くの参加者が次々と質問をして時間いっぱいまで活発な意見交換が行われ、我が国の防衛環境に関する関心の高さが示されました。

海上自衛隊 護衛艦「あさひ」就役

平成30年3月7日(水)、三菱重工業株式会社長崎造船所において、護衛艦「あさひ」が海上自衛隊に引き渡され、これに続き自衛艦旗を授与された同艦は、初代艦長高岡智2等海佐の指揮の下、配備先である佐世保に向け出港しました。

同艦は、平成25年度に計画された、海上自衛隊護衛艦として初めてガスタービン推進に加え電気推進システムを組み合わせたハイブリッド護衛艦の1番艦であり、基準排水量約5100トン、全長151メートル、幅18.3メートル、最大速力30ノットの最新鋭の護衛艦です。

なお、同艦は、平成27年5月起工、翌28年10月進水、その後、ぎ装工事(各種機器等の搭載)を行い、今般就役したのですが、この間、長崎防衛支局は、建造工事の監督及び検査を担当し、同艦の船出に深く関わりました。



▲村川豊海幕長訓示



▲長崎港を出港した護衛艦「あさひ」



▲自衛艦旗掲揚

防衛問題ミニセミナーを開催しました！

平成30年3月13日(火)、福岡県築上町にて防衛問題ミニセミナーを開催しました。

ミニセミナーは、防衛政策や自衛隊の活動の円滑な実施のため、特に理解及び協力が必要な防衛施設周辺地域への取り組みを推進するため開催したものです。

今回のミニセミナーでは、航空自衛隊築城基地が所在する築上町において、築城地区基地対策委員会及び八津田地区基地対策委員会の委員の皆様に参加していただき、我が国を取り巻く安全保障環境の状況などを説明させていただきましたとともに、築城基地内の見学を実施しました。

参加者からは、「中国・北朝鮮の現状がよく理解できた。」「基地の町であり、防衛・災害活動などに興味があるのでまた開催して欲しい。」などの感想をいただきました。

九州防衛局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動について、より多くの方々に理解していただけるよう、今後も各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。ぜひともご参加下さい。



▲第8航空団司令部基地渉外室
広報班長による基地概況説明



▲防衛白書の説明をする
地方協力確保室長



▲パイロットによる航空機説明

「交通安全看板」贈呈式及び清掃活動を実施(佐世保)

佐世保市崎辺地区では、現在、九州防衛局が進める陸上自衛隊水陸機動団の新編に伴う工事が行われ、交通量の増加が見込まれることから、佐世保商工会議所建設部会(部会長(株)梅村組代表取締役社長梅村良輔氏)と崎辺西地区建設協力会(※)が、地区内の小中学生への交通安全に対する意識の啓発及び建設工事受注者及び一般の交通ドライバー皆様へ交通安全遵守を一層促進させることを目的に、交通安全看板を地元自治会へ寄贈しました。

贈呈式は、3月20日(火)佐世保市立港小学校応接室で行われ、崎辺地区自治協議会西川信一会長、港小学校河内教頭及び同小学校児童2名が代表として受け取られました。

当該看板は、港小学校、天神小学校、福石中学校及び崎辺中学校付近等20カ所に設置されることとなっています。

また、崎辺西地区建設協力会は地域社会貢献活動の一環として、地域美化及び交通安全啓発を目的とし毎月1回、地域清掃活動を行っています。地域清掃活動には協力会のほか陸上自衛隊及び九州防衛局のみならず協力会の主旨に賛同した海上自衛隊も参加し一丸となって地域社会への貢献を行っています。

(※) 崎辺西地区建設協力会

陸上自衛隊水陸機動団新編工事にかかる崎辺西地区受注元請業者協力会23社(JVを含む。)から構成されています。



▲みんなで記念撮影、後列左から、河内教頭、西川自治会長、梅村部会長、協力会幹事会社川田氏(前列は、港小学校生徒代表)



▲地域清掃活動を実施(崎辺西地区建設協力会、陸上自衛隊、海上自衛隊九州防衛局)

お知らせとお願い

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、**米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為**です。

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、**法令違反に当たる場合があります。**

安全確保のため、御理解をお願いいたします。



■ 米軍ヘリとドローンが接近する状況

防衛省・警察庁・国土交通省・外務省

■ 本チラシの内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のいずれかの部署に御連絡願います。

防衛省本省 地方協力局地方協力企画課 防衛省九州防衛局 総務部報道官	(代表) 03-3268-3111 (内線: 36245、36047) (直通) 092-483-8813
---------------------------------------	--

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、**重大事故につながるおそれのある大変危険な行為**ですので、**行わないで下さい。**

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、**法令違反に当たる場合があります。**



九州防衛局広報活動 ～缶バッジの新作が続々と登場～

九州防衛局では、自衛隊等のイベントにおいて専用ブースを設け、広報誌の配布やパネル展示などの広報活動を行っています。

その中で人気を集めているのが、クイズに答えてもらえる自衛隊装備品がプリントされた缶バッジです。(平成29年12月発行「きゅうしゅう」No.40 参照)

今回、主に海上自衛隊の装備品をプリントした新作の缶バッジが加わることとなったので紹介します。



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先
電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、
・休日は終日。